



エコシステムアカデミー 2022



第12回環境セミナー開催

コロナ感染の第8波が懸念される中、第12回環境セミナーを、2022年11月22日に本社（両国）会場でのface to face形式の講演とweb配信（zoomウェビナー）のハイブリットにて開催しました。

今年は、三菱グループをはじめ昨年より紹介先を増やし、その結果95件の聴講申し込みがあり、本社会場31名を含め、計134名の聴講者数となりました。

テーマ **【持続可能な社会のための生物多様性】**

今回のテーマは「持続可能な社会のための生物多様性」としました。私たちの生活は自然からの恵み（人以外のいろいろな生きものの動き）の下に成り立っています。昨今の地球温暖化、気候変動、プラスチックゴミ問題などはこれら生きものへも大きな影響を及ぼしています。私たちが持続可能な社会を考える時、これら生きもののもっともしっかりと考えなければなりません。今回の生物多様性に関わる学術的な側面と企業の取り組みについての講演が、少しでも「持続可能な社会づくり」への貢献について考える機会としていただきたく、選定しました。

01

生物多様性はなぜ重要か？～人と生き物の関係から考える



生態系サービスは自然の恵み、つまり人類に対する自然の貢献と言う事を微生物→医薬品、マグロの生態系ピラミッド、昆虫によるソバの花粉媒介など、生物多様性の重要性について色々な切り口で説明して頂きました。

最後に、中国では持続可能な“発展”と訳しているSDGsについてウェディングケーキモデルでの説明でお話を締め括られ、わかりやすく生物多様性を学べる講演でした。



東京大学大学院 農学生命科学研究科
教授 宮下 直氏

02

環境負荷低減に向けたライオンの取り組み



会社紹介に始まり、経営戦略と長期環境目標をわかりやすく説明された後、ライフサイクルにおける環境負荷の低減策として、水を大切にする生活習慣の提案は環境負荷低減に貢献大と述べられました。その後、資源循環への取り組み事例、環境コミュニケーションと生物多様性活動についての説明に移り、最後に動画にて「ライオン山梨の森Ⅱ」の活動をご紹介頂きました。環境セミナーでの製造業の環境負荷低減の取り組み紹介は初めてであり、同じ製造業である私たちも、多く共感出来る部分のある、わかりやすい講演でした。



ライオン株式会社 サステナビリティ推進部
主任部員 島崎 博子氏

エコシステムアカデミーは、持続可能な社会の実現に貢献することを目的に「体験型環境学習」「森の調査・研究」「情報発信」を三本柱として活動しており、みなさまの参加をお待ちしております。

今年は、機器トラブルで予定時間を過ぎたにも関わらず多くの方に最後まで聴講頂きました。

来年もハイブリットでの開催の予定ですが、よりスムーズな進行を目指し、持続可能な社会づくりにつながる環境や森林などにスポットを当てたセミナーを企画していきますので、ご期待ください。